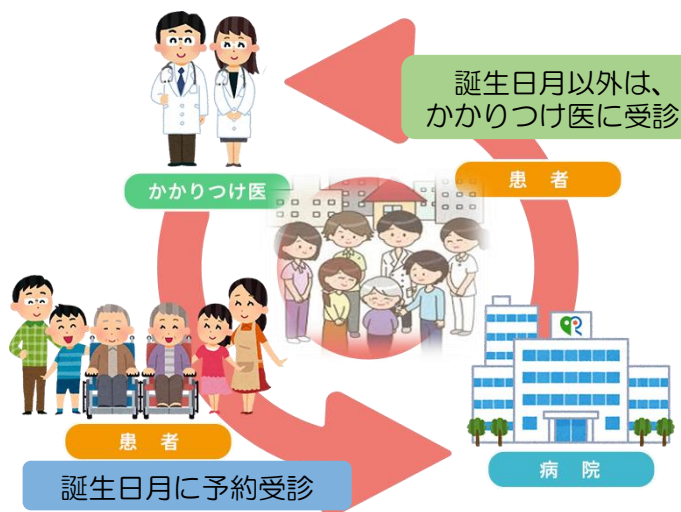


糖尿病連携について 地域連携を推進しています

〈糖尿病連携について〉

普段はかかりつけ医に通院します。そして誕生日には、当院予約とし、合併症管理や療養支援を行います。これにより、糖尿病患者さんの重症化悪化予防および自己管理推進につながると考えます。

そのため、誕生日には、ご紹介いただきますようお願い致します。



【当院での取り組み内容】

🌀 糖尿病診療

当院での糖尿病診療は、生活習慣病センターにおいて、外来および入院に至るまで、医師だけでなく、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師などがチームを組み、特に糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフが中心となり、それぞれの専門性を活かしながら行っています。

糖尿病は自覚症状がなく、食事療法や運動療法などの継続が難しい面もありますが、血糖値が高い状態が続けば続くほど合併症（網膜症、腎症、神経障害、動脈硬化、がん、歯周病、そして認知症など）が進行し、後戻りできなくなってしまうます。患者さんの生活状況を聞きながら、より良い血糖コントロール、合併症の予防を目指してサポートしていきたいと考えています。



🌀 生活習慣病センター

ここでは、内分泌代謝疾患の診療を行っています。主に糖尿病診療において、センター機能に集約化することにより、すべての糖尿病の方への十分な対応、シームレス（切れ目のない）健康管理、更なる病診連携、地域連携を行っています。



☀️ 糖尿病教育入院

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、そして臨床検査技師などがチームを組み、入院中支援をします。

そして、受動的に治療や検査を受けるだけでなく、ご自身の身体の状態を学習し、退院後の生活を見据えた自己管理の具体策を見つけていきます。

管理栄養士が実践的な食事療法を一緒に考えていきます。



採血や心電図などの検査を行い、合併症の状態や糖尿病の原因検索も行います。



糖尿病はどんな病気か、自分の身体はどんな状態か、パンフレットやDVDを用いて学習します。



退院前には、患者および家族や病院関係者、ときにはかかりつけ医、そして高齢者では介護スタッフの方にも参加していただき、話し合いを行い、退院後の生活につなげていきます。

☀️ 糖尿病教室

糖尿病についての正しい知識を知り、適切な食事と運動、薬物療法を行うことで合併症を起こすことなく健やかな生活を送ることができます。

無理のない生活習慣の改善や治療を行い、糖尿病の予防・早期発見を行っていくことが大切です。

糖尿病教室のご案内

曜日	内容	担当
8月17日 (木)	・糖尿病と歯の意外な関係 ・糖尿病ってどうやったらわかるの？	歯科衛生士 検査技師
9月21日 (木)	・注射のお薬について知ろう！ ～注射はインスリンだけじゃない～ ・糖尿病でも大丈夫!!季節に合わせた食事のポイント	薬剤師 栄養士
10月19日 (木)	・糖尿病に効果絶大!!効果的な運動療法 ～いつ、なにを、どのくらい～ ・その足の異常を見逃していませんか？ 足と糖尿病の意外な関係	理学療法士 看護師
11月16日 (木)	・本当に怖い糖尿病	医師

※場所は当日変更になることがあります



☀️ 外来での療養相談

療養指導とは、糖尿病で療養中の外来患者さんに療養での困ったことや疑問点をお聞きしたり、血糖コントロールを改善できるよう具体的に生活上の問題点を一緒に考えたりします。その他、足の壊疽を予防するためにフットケアの方法や透析を予防するための指導も行います。療養相談は患者さんが糖尿病とともに人生を歩んでいけるように寄り添う場となっています。医師の指示のもと毎週水曜日、金曜日の午前、木曜日の午前・午後予約制で行っています。

